

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成29年度採択）

F S（実行可能性）評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	F S 研究名	研究代表者	評 価
29-4	観光流動把握を目的とした交通流動推定システムの研究開発	京都大学 教授 宇野 伸宏	B
<p><研究の概要></p> <p>観光流動の把握を主たる目的とし、ETC2.0、携帯電話系データ、経路探索履歴データなど様々なビッグデータを利活用し、観光トリップを主とした都市内の移動に関して、そのトリップパターンおよびトリップチェーン流動を推定するシステムを開発する。</p> <p><FS 評価></p> <p>都市内のトリップパターン、トリップチェーンを推定可能な交通流動推定システムの開発に向けて成果をあげているが、道路交通施策、交通マネジメント方策の効果の評価方法が明確でないため、指摘事項に留意しながら新規課題として採択することが妥当であると評価する。</p> <p><今後の研究計画・方法への指摘事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 対象としている交通施策の効果を評価するためのモデル表現方法を具体的に示していただきたい。 現時点では、トリップパターン（OD）推定とトリップチェーン推定がそれぞれ独立のように思われる。2つの推定手法の関連性を明らかにした上で、交通マネジメント施策の評価との関連性を明確にした研究計画としていただきたい。 Tourism Demand Management による交通マネジメント施策を検討するにあたり、パークアンドライドなどの個別の施策の効果を事前に推定できるようなシステム構築を目指していただきたい。 地域の行政機関と連携の上、実務に役立つ施策提案ができるようにしていただきたい。 			

※本評価結果は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第34回新道路技術会議において審議したものである。